



試行錯誤と工夫で 収益アップを目指す

平成27年に県立農林大学校を卒業し、就農しました。今はきゅうりを生産し6年目になります。

農業は農作物を育てるのが仕事。農作物は、その年その年の天候など

私は、もともと運送業をし、日本各地を回つてきました。さまざまな農作物の産地を見る機会があり、しだいに地元舟形で農業を始めたいと思うようになり、就農しました。

現在は自分ひとりで作業をしてい

るので、毎日の作業の進捗や、作物の成長を見ると達成感があります。

また、自分で考えて手間を掛けた分の結果に現れるということも、前の仕事とは違ったおもしろさがあります。

私は、農業はビジネスの一つと考えており、農業で収益を上げ、さまざまなことに挑戦したいと考えています。



伊藤 亨さん（長沢第1）
アスパラガス生産者3年目

趣味との両立も

私はアスパラガスを生産しています。自分で作業の段取りを考え、計画しだいで休日を作れると考えています。休日は、趣味を楽しむ時間に行っています。自分で休みを調整できるのも、農家ならではだと思います。趣味と両立し、農作業とのメリハリをつけることで、充実した生活を送れると感じています。



▲枝分かれした茎の整理

園芸農業ってどのぐらいの収入があるの？

実際にどのぐらいの農業収入があるのか、アスパラガス20aを生産する場合を例に見てみましょう。20aは、1人で栽培する場合、町で推奨している栽培面積です。

(舟形町のアスパラガス生産者のJA出荷実績より)

出荷量 売上	出荷量 売上	出荷量 売上	出荷量 売上	出荷量 売上
1,750kg 2,000,000円	1,990kg 2,020,000円	2,150kg 2,500,000円	2,500kg 3,400,000円	2,900kg 3,700,000円
				
収穫1年目	収穫2年目	収穫3年目	収穫4年目	収穫5年目

さらに、栽培面積の拡大や冬期間の促成栽培（うるい・タラの芽など）との組み合わせにより、売上の増加につながります。※新規就農者には、年間最大150万円（最長5年間）の補助金が該当になります。



続していくことが大切だと感じています。もちろん、続けていけるのは同じ生産者仲間や協力してくれる方々のおかげです。就農したことで、年齢の違う多くの方と話す機会が増えました。このことで、学生時代までにはなかった新たなつながりができました。これは、農業をしたからこそ生まれたものだと思います。今後、このつながりを大切にして、がんばっていかねばと思っています。

農業に大切な言葉

「継続は力なり」と

「つながり」

農協や同じ生産者などさまざまな方からの指導やアイデアを生かし、順調に面積や収量を伸ばせています。将来的には、もっと大きく農業経営できるようにしたいと考えているので、経営についての勉強もがんばっていきたいです。

私が今思うことは、「継続は力なり」ということです。どんなことにも通じることではあると思いますが、農業も初めからすべてうまくいくとは限りません。途中でうまくいかないこともあるかと思います。その中でも、自分が今やっていることを継